

第2学年 英語科学習指導案

2年2組 男子 21名 女子 19名 計 40名

指導者 高野 佳之

【授業】 13:30~14:20 会場 2年2組 (3階)

【協議会】 14:30~15:20 会場 集会室 (2階)

1 題材名 Reading② Friendship beyond Time and Borders *SUNSHINE ENGLISH COURSE 2*

2 題材について

(1) 題材設定の趣旨

本題材は、約130年前に和歌山県串本町大島沖で起きた悲しい出来事、そしてイラン・イラク戦争下における実話に基づいている。1985年、イラン・イラク戦争の真っ只中、イラクは「イラン上空の航空機に対し無差別攻撃を行う」と宣言する。多くの国は期限までに自国民を救出した。しかし、日本は当時自衛隊の派遣ができないという制約から救出に向かうことができなかった。テヘラン空港に詰めかけた多くの日本人が諦めかけた時に、トルコの航空機が現れ、215名の日本人を救出した。実は、約130年前の1890年、トルコ人が軍艦エルトゥールル号に乗って日本を訪れた。その帰途の途中、台風に遭遇し、軍艦は沈没してしまい、600名以上が海に投げ出された。串本町の漁村の住民たちが総出で生存者の介抱を行ったのち、69名の生存者が日本海軍の軍艦で無事にトルコに送り届けられた。これらの出来事をきっかけに日本とトルコの友好関係が生まれた。災害時などお互いに復興支援を行うなど、今も良好な関係を築いている。

本題材を通して生徒には、身の回りや社会の出来事に際して自分はどうのように行動すべきかを考え、よりよい世界を築いていくためには国境を超えた助け合いが必要であることを学ばせたい。本授業づくりにおいては、学習指導要領に定める英語1目標(3)話すこと[やり取り](イ)「日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする」を目標とし、本文を読み深め、把握した内容に基づいて、「国と国とのよりよい関係を築くために自分たちにできること」について生徒間でやりとりをさせる。級友との意見交流の中で共通点や相違点を見出し、新たな自分自身の考えを構築する機会としたい。

本校のCAN-DOリスト第2学年、「話すこと(やり取り)」では生徒が「与えられたテーマについて、意見の根拠となる1文程度の英文を付けて、自分の意見を述べるができるとともに、相手の意見を受けて相づちや短いコメントを伝えることができる。」姿を目指している。自分に今できることを述べるだけでなく、その根拠や理由を相手に伝えることや、聞き手の質問により、やり取りを継続・発展させ、テーマに関する考えや意見を深化させたい。本時では、生徒の本題材本文の内容理解に関する教師-生徒間のやりとりにおいて、本文には書かれていない内容に関して推論発問をすることで、より当時の状況や人々の感情を想像させたい。また、生徒が教師-生徒間、生徒同士のやりとりや全体共有を通して、さらなる学びにつなげたい。次時に「国と国とのよりよい関係を築くために自分たちにできること」について、自分の考えや気持ち、その理由などをレポートにまとめる活動を行う。生徒には聞いたり読んだりした内容に主体的に関わりをもち、その内容に関する感想や考えを書かせたい。また、本時のやり取りを通して、級友の意見を聞いたり級友からの質問によって深まったりした自分の意見を書けるように促していきたい。

昨今、ロシアのウクライナ侵攻が始まるなど、社会情勢が益々不安定になってきている。この題材を読み進めることで、当たり前だと感じていた「平和」は「国際協力」があって成り立つことを改めて考える機会としたい。世界で起きている事象を「自分事」として捉えさせ、リアルな社会につなげ考えていくきっかけとしたい。

3 「見方・考え方」を働かせ、「深い学び」を実現する授業づくり

本題材が目指す「深い学び」の状態について

物語の内容を理解しながら、その内容に関する自身の考えを伝えたり、相手の発話した内容に関する質問をしたりすることができる。

学習指導要領に定める英語1目標(3)話すこと[やり取り](イ)「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする」を目標としている。本文を読み深め、把握した内容に基づいて、「国と国とのよりよい関係を築くために自分たちにできること」について生徒間でやりとりをさせる。自身の考えを整理したり発展させたりするためにマッピングを使用することや、級友との意見交流の中で、相手の発話内容に関連する質問をすることで、共通点や相違点を見出し、新たな自分自身の考えを構築する機会としたい。

4 題材の目標

○国際協力について理解を深め、国と国とのよりよい関係を築くために今自分ができることについて意見を言ったり、まとまりのある英文に書いたりすることができる。

5 全体計画(全4時間)

- | | | |
|-----|--|-----------|
| 第1次 | ・2nd stage(1・2)からイラン・イラク戦争のときにトルコが日本に対してしてくれたことについて読み取る。 ・当時、イランにいた日本人の心情を推測する。 | …………… 1時間 |
| 第2次 | ・2nd stage(3~5)からエルトゥールル号の遭難事件の際に日本人が使節団に対して行ったことについて読み取る。 ・当時、日本人が貧しい状況の中、なぜ懸命にトルコ使節団の人々を介抱したのかについて推測する。 | …………… 1時間 |
| 第3次 | ・2nd stage(6・7)から約130年前から現在に至るまで続いているトルコと日本の友好関係について読み取る。 ・国際協力について考え、自分たちにできることについてやり取りを行う。 | … 1時間(本時) |
| 第4次 | ・国際協力についての自分の考えを作成したマッピングを参考にレポートにまとめる。 | …………… 1時間 |

6 本時の学習(全3/4時間)

(1) 指導目標

- ・トルコと日本の友好関係について理解し、国と国とのよりよい関係を築くために自分ができることについてやり取りすることができる。

(2) 展開

| 学習活動と予想される生徒の反応 | 指導上の留意点 |
|---|--|
| <p>1 単語マシンガンを行う。</p> <p>2 picture card を見ながら 2nd stage (1～5) までの物語を振り返る。 T: Look at this picture. Where are they? How do they look? S: They look scared. T: That's right. What are they afraid of? S: The air above Iran will be a no-fly zone soon. Many countries sent planes to rescue their people in Iran. But Japanese planes didn't come. T: What happened after that ? S: Suddenly two Turkish planes came to rescue Japanese people.</p> <p>3 Oral introduction を行う。 T: Turkish people and Japanese people help each other until now. Look at this picture. (トルコの被災地での写真) This picture was taken in Turkey. What happened ? S: An earthquake happened in Turkey. T: That's right. A big earthquake hit Turkey in 1999. In this picture, there are many Japanese people. Why did they go there ? S: They go there to help. T: I guess so. Look at another picture. (日本の被災地での写真) This picture was taken in Japan. Do you know what happened in 2011? S: A big earthquake hit Japan. T: Exactly. Why did Turkish people come to Japan. S: To save people in Japan.</p> <p>4 開本し、本文 (3rd stage 6・7) を各自で</p> | <p>・内容に関する挿絵を貼り、その挿絵をヒントにやり取りをし、今までの学習の内容を振り返らせる。</p> <p>・トルコと日本の関係が視覚的にわかるように図示する。</p> <p>・トルコと日本で起きた災害について、写真をもとにやり取りをしながら本文の概要をつかませる。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>黙読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黙読する前に、以下の2つの質問をし、概要を把握させる。 <p>Pre-Q1: Why did Turkish planes come to Iran to rescue Japanese people?</p> <p>Pre-Q2: How can we make a better world?</p> <p>5 教科書全体の内容確認後、発問をする。</p> <p>Q1: Why do children know the story?</p> <p>Q2: What is the key to make a good relationship between countries?</p> <p>T: Why do children know the story?</p> <p>S: Parents tell it their child.</p> <p>T: I see. Is there anything else?</p> <p>S: It is written in a textbook in Turkey.</p> <p>T: Actually, the movie about the story was made in Turkey. Why did Turkish people do so?</p> <p>S: They want to continue the relationship between Japan and Tukey.</p> <p>T: Good idea. Then, what is the key to make a good relationship between countries?</p> <p>S: I think it is "culture".</p> <p>6 やり取りのトピックを提示する。</p> <p>T: As you know, Turkey and Japan have a good relationship. Some countries fight in a war, others blame each other. What can we do to make a good relationship between countries?</p> <p>7 学習課題を確認する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本文を黙読する前に発問を与えることによって、テキストの要点を把握できるようにする。 ・英文の読み取りに困難を感じている生徒がいれば、その生徒に助言したり全員で考えたりしてその内容を確認する。 ・教科書に答えが書かれていないので、教師と生徒のやり取りを通して、発問に答えを推測させる。 ・机間指導を行い、答えに戸惑っている生徒には、表現を言い換えるなど、個別に支援を行う。 ・発問に対しての答えをキーワードとして板書することで、生徒がこの後行うやり取りで意見を構築しやすくさせる。 |
| <p>国と国とのよりよい関係を築くために、自分にできることについてお互いの意見を伝え合おう</p> | |
| <p>8 国際協力について自分たちにできること</p> | |

についての自分の意見を整理する。

・ Thinking Time (2分)

9 よこペアで自分の意見を伝え合う。

【生徒同士の対話例】

S1: What can we do to make a good relationship between countries?

S2: I think we should understand culture in other countries.

S1: Why do you think so?

S2: It is important to understand each other.

10 指名された個人が教師と対話をし、より相手の意見を引き出したり意見を深めたりするにはどのような工夫が必要かを全体で考え共有する。

T: What can we do to make a good relationship between countries ?

S: I can understand culture in other countries.

T: Why do you think so?

S: It is important to understand each other.

T: Great. What can we do to understand each other ?

S: By reading books, we can learn a lot about it.

T: Exactly. Do you have other examples ?

S: We can join exchange programs.

11 よこペアでのやり取りや全体共有での反省をもとに、自分の意見について再考する。

12 たてペアで自分の意見を伝え合う。

【生徒同士の対話例】

S1: What can we do to make a good relationship between countries?

S2: We should learn about culture in other countries

S1: How do you learn about it?

S2: I will study English. If we can

・自分の意見を整理しやすいように話す内容を単語でマッピングに書かせる。

・発話内容に困っている生徒には、推論発問で出た答えをヒントに考えるように助言する。

・話し手の発話内容に対して質問させ、より具体的な内容や経験を引き出すように促す。

・生徒とのやり取りの内容から、生徒自身の意見やその理由が抽象的であれば、内容を深める質問をし、より詳細に自身の考えを表現できるようにする。

【相手の意見を引き出す表現例】

- ・ What do you mean by ~?
- ・ Could you tell me more about that ?
- ・ What do you think we should do ?
- ・ What else do you think about that ?
- ・ Have you ever experienced something like that ?

・よこペアでのやり取りや全体共有を通して、考えが変わった部分や新たに付け加えたい情報について、マッピングに加筆修正させる。

・言いたいことが言えない生徒に関しては、既習の英語表現で言い換えることができないか助言する。

国際協力についての自分のできることについて理由や根拠とともに相手に伝えることができる。(思考・判断・表現)【観察】

| | |
|--|--|
| <p>speak English, we can communicate with people in the world.</p> <p>S1: Do you have other examples?</p> <p>S2: I visited Kyoto for our school trip. There were many foreign people. I talked about Japanese culture in English so we should study English more.</p> <p>13 振り返りを行う。</p> | |
|--|--|

7 授業観察の視点

- 本題材での目標にむけて、推論発問についての教師-生徒間のやり取りは、国際協力についての自分の意見を考える上で有効であったか。
- 本題材の目標にむけて、全体共有の際の教師からの内容を深める問いかけは、自分の意見を再構築し、深める上で有効であったか。